

農山漁村地域整備計画における事後評価

(1) 整備計画の概要

計画の名称	きめ細やかな農業農村整備プロジェクト																																		
計画策定主体	沖縄県																																		
対象市町村	32市町村（国頭村、東村、大宜味村、今帰仁村、本部町、名護市、恩納村、宜野座村、金武町、伊平屋村、伊是名村、伊江村、うるま市、沖縄市、読谷村、中城村、北中城村、南城市、八重瀬町、糸満市、南風原町、久米島町、渡嘉敷村、渡名喜村、粟国村、北大東村、南大東村、宮古島市、多良間村、石垣市、竹富町、与那国町）																																		
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）																																		
計画の目標	<p>1. 地域の現状</p> <p>沖縄県は亜熱帯性気候に属し土壌は有機質に乏しく侵食されやすい上、毎年のように台風や干ばつの被害を受ける特殊条件の中、畑作を中心とした農業を展開している。</p> <p>2. 抱えている課題</p> <p>ほ場整備、かんがい施設の整備が遅れており農家所得の向上が図られていない、また、農地からの耕土の流出が著しく営農及び、周辺環境に支障をきたしている。 また、農業排水処理施設等の生活環境基盤整備が遅れており、都市部と格差がある。</p> <p>3. 取り組むべき対策</p> <p>亜熱帯特性等を生かした特色ある農林水産業の振興を図るため、亜熱帯・島しょ性の地域特性に適合する農業生産基盤の整備を推進するとともに、沖縄らしい風景・村づくりの保全・創造・調和を図るため、地域性に富んだ活力ある農村を構築する生活環境基盤の整備及び多面的機能の強化を推進する。</p> <p>4. それによって達成しようとする目標</p> <p>農業生産額・農家所得の向上、多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p>																																		
定量的指標	<p>上記の計画の目標に対する定量的指標は以下のとおりとする。</p> <p>①農業生産基盤整備の強化(優良農地の確保)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">目標</td> <td style="width: 15%;">1,700ha</td> <td style="width: 15%;">実績</td> <td style="width: 15%;">1,777ha</td> <td style="width: 15%;">達成状況</td> <td style="width: 10%;">105%</td> </tr> </table> <p>②農地及び農業用施設の保全強化(優良農地の保全)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">目標</td> <td style="width: 15%;">1,600ha</td> <td style="width: 15%;">実績</td> <td style="width: 15%;">1,673ha</td> <td style="width: 15%;">達成状況</td> <td style="width: 10%;">105%</td> </tr> </table> <p>③生活環境基盤の強化(集落排水処理人口の向上)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">目標</td> <td style="width: 15%;">16,000人</td> <td style="width: 15%;">実績</td> <td style="width: 15%;">16,786人</td> <td style="width: 15%;">達成状況</td> <td style="width: 10%;">105%</td> </tr> </table> <p>④生活環境基盤の強化(定住化促進に向けた環境基盤整備)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">目標</td> <td style="width: 15%;">40集落</td> <td style="width: 15%;">実績</td> <td style="width: 15%;">42集落</td> <td style="width: 15%;">達成状況</td> <td style="width: 10%;">105%</td> </tr> </table> <p>⑤美ら海・農業の推進（赤土等流出防止対策）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">目標</td> <td style="width: 15%;">900ha</td> <td style="width: 15%;">実績</td> <td style="width: 15%;">979ha</td> <td style="width: 15%;">達成状況</td> <td style="width: 10%;">109%</td> </tr> </table>					目標	1,700ha	実績	1,777ha	達成状況	105%	目標	1,600ha	実績	1,673ha	達成状況	105%	目標	16,000人	実績	16,786人	達成状況	105%	目標	40集落	実績	42集落	達成状況	105%	目標	900ha	実績	979ha	達成状況	109%
目標	1,700ha	実績	1,777ha	達成状況	105%																														
目標	1,600ha	実績	1,673ha	達成状況	105%																														
目標	16,000人	実績	16,786人	達成状況	105%																														
目標	40集落	実績	42集落	達成状況	105%																														
目標	900ha	実績	979ha	達成状況	109%																														
全体事業費	43,395,876 千円																																		

(2) 評価の内容

評価項目	評価内容
交付対象事業進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・369地区について計画に基づき事業が完了した。 ・残りの地区についても、農山漁村地域整備計画(平成29年度～平成33年度)に位置付け、引き続き目標達成に向け、事業を推進している。
事業効果の発現状況及び目標値の実現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産基盤整備の強化(優良農地の確保)については、農業生産基盤整備の強化を図るため、区画整理や畑地かんがい施設の整備等を行った結果、確保された優良農地が約1,777haとなり、成果目標である約1,700haを達成することができた。 ・また、農道や排水路などを整備したことにより、営農の機械化が図られ、農業生産性の向上に寄与した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・農地及び農業用施設の保全強化(優良農地の保全)については、農地及び農業用施設の保全強化を図るため、老朽化したため池等の改修、排水施設、防風施設等の整備を行った結果、保全された優良農地が約1,673haとなり、成果目標である約1,600haを達成することができた。 ・また、農業水利施設などを整備したことにより、農業生産性の向上に寄与した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境基盤の強化(集落排水処理人口の向上)については、生活環境基盤の強化を図るため、農村部の汚水処理施設の整備等を行った結果、集落排水処理人口が約16,786人となり、成果目標である約16,000人を達成することができた。 ・また、汚水処理施設の整備などにより、農業用排水の水質保全及び農村生活環境の改善が図られ、地域の活性化と定住促進に寄与した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境基盤の強化(定住化促進に向けた環境基盤整備)については、生活環境基盤の強化を図るため、42集落で、農道、集落道、集落排水路、自然環境・生態系保全施設等の整備等を行った結果、成果目標の箇所数を達成することができた。 ・また、農道・集落道などの道路整備と生活環境整備により、農作物の粉塵被害の軽減、農作物の品質の向上及び高収益作物の導入が図られ、農業生産性の向上に寄与した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・美ら海・農業の推進(赤土等流出防止対策)については、美ら海・農業の推進を図るため、土壌流出防止対策等の整備等を行った結果、土壌流出が防止された農地が約979haとなり、成果目標である約900haを達成することができた。 ・また、排水路の整備などにより、農用地からの土壌流出防止及び下流域の保全が図られ、赤土流出による農業と環境への被害軽減に寄与した。
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き計画期間を平成29年度～平成33年度とする農山漁村地域整備計画により、農業の基盤整備においては、干ばつ被害を解消し、農産物の収量増大や品質向上等を図るため、地域特性に応じ安定した農業用水源とかんがい施設を整備すると共に、農家の経営安定を図るため農地の整形や集積化を進めながら、農山漁村地域の振興に努める。